

徳之島事務所（令和7年6月分）管内情勢

農林水産業関連

1 令和6年度産トルコギキョウの出荷終了，次作に向けた対策が必要

令和6年度産の徳之島トルコギキョウ組合の出荷が6月4日に終了した。当組合では新規就農者1戸を含む5戸の生産者が1月～6月に出荷を行っている。

今年度は定植時の高温による生理障害や有害センチュウ等の病害虫被害，花芽分化期の低温の影響による開花遅延が発生し，出荷量は昨年度と比較して約42%減少した。また，出荷時期によって単価の変動が大きく，販売面でも厳しい状況が続いた。

当課では，次作に向けた改善策の実践を支援していく。

2 パッションフルーツの共販量2トンを目指す

6月12日に天城町にて，JAあまみ徳之島地区果樹部会主催のパッションフルーツ収穫式が開催され，生産者・関係者計27人が参加し，目標達成に向けた意思統一が図られた。

今年度産は，前年12月以降の低温の影響により生産者間で単収にばらつきがあるものの，一部で単収向上につながる新たな整枝方法が導入されており，前年度産並の共販量2t，販売単価1,300円/kg，販売金額2,600千円を目指している。



3 牛飼い塾で栄養管理，分娩管理，未利用資源の活用について学ぶ

6月18日に徳之島中央家畜市場にて，就農5年目までの新規就農者及び各町畜産振興会員を対象とした牛飼い塾を開催した。

当日は，新規就農者等19人，指導農業士4人，関係者22人の計45人が参加し，肉用牛の栄養管理，分娩管理並びにさとうきび収穫残渣であるハカマの回收利用について学んだ。

当課では，今後も関係機関と連携し，物価高騰や子牛価格低迷等厳しい状況下でのコスト低減と生産性向上へ向けた支援を継続する。



4 関係機関で新規就農者を励ます

6月20日に天城町にて，新規就農者励ましの会を開催し，新規就農者，関係機関等計34人が参加した。

今年度の対象者は，天城町4人，伊仙町1人の計5人で，ピタヤ，とうもろこし，さつまいも，さとうきび，しょうが，トルコギキョウ等の生産に取り組む。新規就農者からは収入の安定化や農産物加工への意欲など，それぞれの抱負が語られた。

当課では，引き続き関係機関や指導農業士会，農業青年クラブ等関係団体と連携し，新規就農者を支援していく。

5 ジャガイモシスト抵抗性品種「しまあかり」の導入に一步前進

6月25日にJAあまみ徳之島事業本部にて，ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種「しまあかり」の実績検討会を開催し，実証農家11人，関係者19人の計30人が出席した。

抵抗性品種への転換の必要性を再度共有した後，18か所での試験栽培結果を基に徳之島における「しまあかり」の特性について検討した結果，実証農家からは導入に向けて前向きな意見が出された。

今後もデータ収集や意見交換を継続し，残された課題の解決を図るとともに，実証農家以外への「しまあかり」導入の啓発活動を強化する。

